

印刷機能について



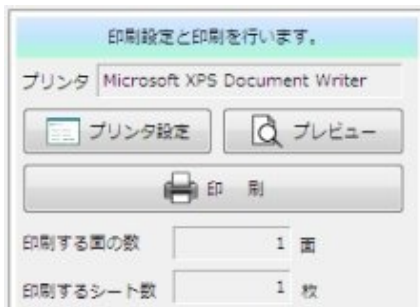
ツールバーの〔印刷〕ボタンをクリックします。
クリックすると画面左のプロパティエリアの表示が切り替わります。

画面下部の設定を行ってください。
それぞれの機能の詳細は下段の機能説明を参照ください。

〔プレビュー〕ボタンで印刷プレビューが表示されます。印刷前に必ずプレビューで確認することをお勧めします。

確認できましたら〔印刷〕ボタンをクリックして印刷を開始してください。

印刷機能の詳細



〔プリンタ設定〕ボタン
使用するプリンタや用紙サイズ、用紙の向きを設定します。

〔プレビュー〕ボタン
印刷イメージをプレビューします。



〔印刷〕ボタン
印刷を開始します。

「印刷する面の数」「印刷するシート数」
現在の設定で印刷すると、ここに表示された「面数」と「シート数」が必要であることを表示します。



「部数」指定ボックス
印刷部数を設定します。

「部単位で印刷」チェックボックス
印刷部数を「2」とした場合、部数の指定のみだと「1ページ目・1ページ目・2ページ目・2ページ目・・・」の順で印刷されるが、この機能にチェックを入れると、「1ページ目・2ページ目・1ページ目・2ページ目・・・」と印刷することができます。

「複数面の印刷」指定ボックス
主に差込データ印刷の際に使用します。差込データの印刷ではあらかじめデザイン時にレコード毎に印刷枚数を指定することもできますが、単純に全件を複数枚づつ印刷するときには、ここでの設定のほうが簡便です。

・「複数面の印刷」ボックスが「1」（初期値）のとき

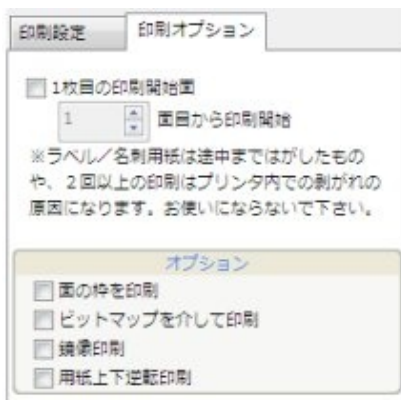


・「複数面の印刷」ボックスが「2」のとき



「印刷位置調整」エリア

印刷の微調整を数値で設定します。本紙に印刷する前にテスト印刷を行い、印字ズレが生じた場合、上下左右で微調整を行います。



「1枚目の印刷開始位置」指定ボックス

この項目にチェックを入れ、数値で開始位置を指定すると、データをずらして指定した面から印刷を開始します。

オプション

「面の枠を印刷」チェックボックス

印刷時に面の枠を印刷します。テスト印字やノーカットシートに印刷し、カットして使用するときにチェックを入れます。

「ビットマップを介して印刷」チェックボックス

面をビットマップ(画像データ)に変換して印刷します。

「鏡像印刷」チェックボックス

作成したデータを印刷時に鏡像(左右反転)して印刷します。アイロンプリントやバックプリント用紙に印刷するときに使用します。

「用紙上下逆転印刷」チェックボックス

KOKUYO製「プリンタ用封筒」に印字するときに設定する専用機能です。

差込データの印刷時

「印刷ページ指定」

「全ページを印刷」「印刷するページを指定」のいずれかを選択します。

「部単位で印刷」チェックボックス

印刷部数を「2」とした場合、部数の指定のみだと「1ページ目・1ページ目・2ページ目・2ページ目・・・」の順で印刷されるが、この機能にチェックを入れると、「1ページ目・2ページ目・1ページ目・2ページ目・・・」と印刷することができます。

「複数面の印刷」指定ボックス

主に差込データ印刷の際に使用します。差込データの印刷ではあらかじめデザイン時にレコード毎に印刷枚数を指定することもできますが、単純に全件を複数枚づつ印刷するときには、ここでの設定のほうが簡便です。

・「複数面の印刷」ボックスが「1」(初期値)のとき

印刷設定 印刷オプション

レコード件数 5件

全ページを印刷 (1ページ)

印刷するページを指定

例: 1,3,8(1,3,8^"-")を印刷
1-3,5-9(1~3と5~9^"-")を印刷

部数 部 部単位で印刷

複数面の印刷 枚

印刷位置調整

上下方向 mm
プラスは下、マイナスは上

左右方向 mm
プラスは右、マイナスは左



・「複数面の印刷」ボックスが「2」のとき



「印刷位置調整」エリア
印刷の微調整を数値で設定します。本紙に印刷する前にテスト印刷を行い、印字ズレが生じた場合、上下左右で微調整を行います。